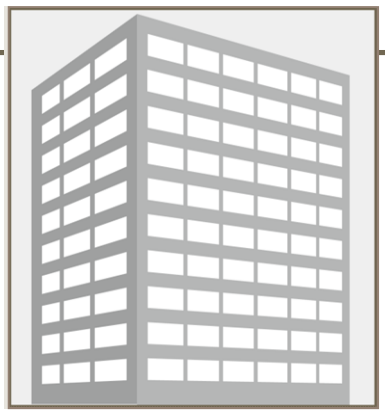
カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO_2排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0840



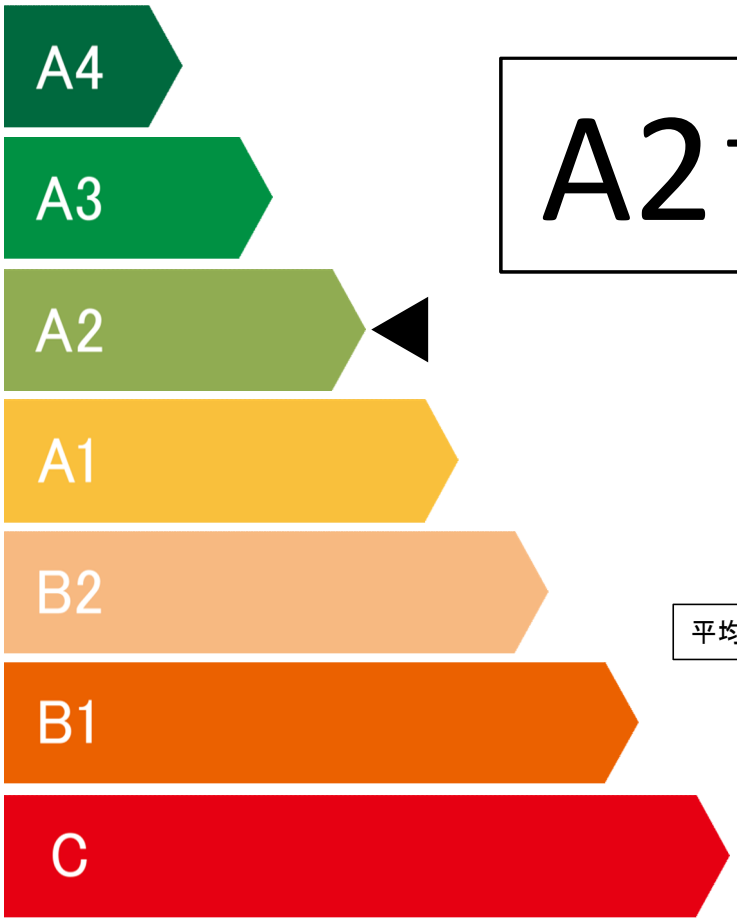
報告書提出事業者名　三井住友信託銀行株式会社

事業所名　笹塚センタービル

住所　渋谷区笹塚二丁目1番6号

実績年度	年間CO_2排出量	延床面積	CO_2排出原単位 (延床面積当たりの年間CO_2排出量)	主たる用途
2019 年	752 t	11973.11 ㎡	62.3 kg-CO_2/㎡	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、準大規模)



A2-

ベンチマークレンジ	CO_2排出原単位(kg-CO_2/㎡)の範囲		
A4		～	41.4
A3+	41.4	～	45.1
A3	45.1	～	48.9
A3-	48.9	～	52.6
A2+	52.6	～	56.4
A2	56.4	～	60.1
A2-	60.1	～	63.9
A1+	63.9	～	67.6
A1	67.6	～	71.4
A1-	71.4	～	75.1
平均値			
B2+	75.1	～	78.9
B2	78.9	～	82.7
B2-	82.7	～	86.4
B1	86.4	～	112.7
C	112.7	～	

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO_2排出水準(CO_2排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)
※CO_2排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。
※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	テナントにエネルギー使用量提供	使用量の推計に必要な情報の提供
		テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握	過去のデータによる傾向の把握
運用対策	空室・不在時等のこまめな消灯	照明スイッチに点灯範囲を表示
	空室・不在時等の空調停止	可能な限り低い照度設定
	共用部のフロアごとの空調の管理	季節に応じた外気導入量の適正化
		事務用機器を業務終了時に停止
		季節に応じた温度設定の見直し
		階段照明の管理手法の検討・実施
		外灯等の点灯時間の季節別管理
設備保守対策	空調フィルターの清掃・点検	セントラル空調のフィルター清掃
		その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策		

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明（自由記入）

◆ 注記

ビルのCO_2排出原単位（延床面積当りの年間CO_2排出量）は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO_2排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO_2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル（省エネ性能）を評価することができます。

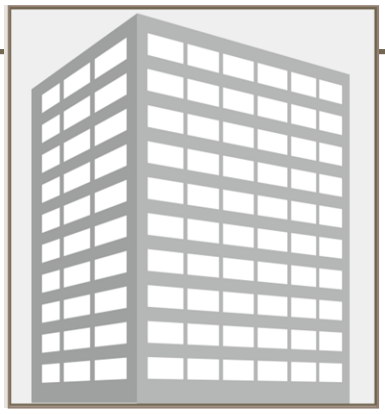
なお、ビルのCO_2排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO_2排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標（ベンチマーク）解説書』（東京都環境局発行）をご参照ください。

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO_2排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0840



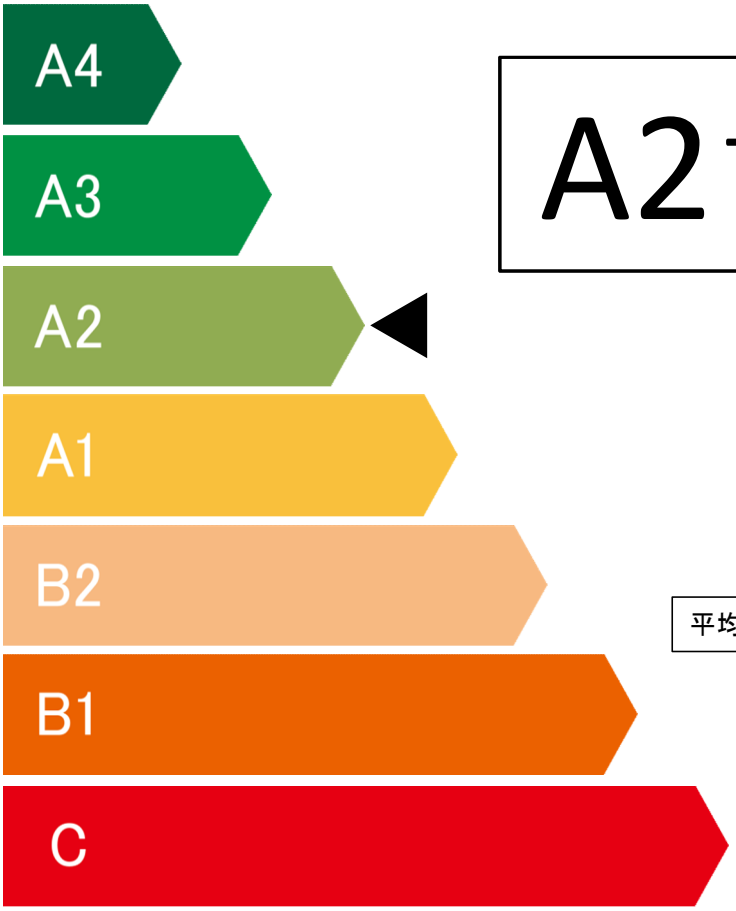
報告書提出事業者名　三井住友信託銀行株式会社

事業所名　笹塚センタービル

住所　渋谷区笹塚二丁目1番6号

実績年度	年間CO_2排出量	延床面積	CO_2排出原単位 (延床面積当たりの年間CO_2排出量)	主たる用途
2018 年	862 t	11973.11 ㎡	71.5 kg-CO_2/㎡	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



A2 -

ベンチマークレンジ	CO_2排出原単位(kg-CO_2/㎡)の範囲		
A4		～	41.6
A3+	41.6	～	45.3
A3	45.3	～	49.1
A3-	49.1	～	52.9
A2+	52.9	～	56.7
A2	56.7	～	60.4
A2-	60.4	～	64.2
A1+	64.2	～	68.0
A1	68.0	～	71.8
A1-	71.8	～	75.5
平均値			
B2+	75.5	～	79.3
B2	79.3	～	83.1
B2-	83.1	～	86.9
B1	86.9	～	113.3
C	113.3	～	

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO_2排出水準(CO_2排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)
※CO_2排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。
※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	テナントにエネルギー使用量提供	使用量の推計に必要な情報の提供
		テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握	過去のデータによる傾向の把握
運用対策	空室・不在時等のこまめな消灯	照明スイッチに点灯範囲を表示
	空室・不在時等の空調停止	可能な限り低い照度設定
	共用部のフロアごとの空調の管理	季節に応じた外気導入量の適正化
		事務用機器を業務終了時に停止
		季節に応じた温度設定の見直し
		階段照明の管理手法の検討・実施
		外灯等の点灯時間の季節別管理
設備保守対策	空調フィルターの清掃・点検	セントラル空調のフィルター清掃
		その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策		

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明（自由記入）

◆ 注記

ビルのCO_2排出原単位（延床面積当りの年間CO_2排出量）は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO_2排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO_2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル（省エネ性能）を評価することができます。

なお、ビルのCO_2排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO_2排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標（ベンチマーク）解説書』（東京都環境局発行）をご参照ください。